

【掲載情報】読売新聞

2016年12月26日付読売新聞朝刊の「家計の知恵」で、当社料理動画メディアサービス「CookMe」が紹介されました。

➤ [プレスリリースはこちら](#)

2月26日(月曜日) 読売新聞 朝刊 1面 (第3種郵便物認可)

◆主な料理動画サービス

サービス名	DELISH KITCHEN	KURASHIRU	C Channel	Tasty Japan	CookMe
運営会社	スタートアウト	エプリー	テレー	シーチャンネル	バスフィードジャパン
特徴	時間短縮レシピ充実。料理教室を定期開催	毎日の食卓に生かせる実用的なレシピを提案	アプリで手持ちの食材からレシピを検索できる	若い女性向けのおしゃれなレシピが中心	米サービスの日本版。家庭料理が充実

「動画ならは調味料の量も一目瞭然。調理手順もイメージできる」

東京都並区の会社員女性(32)は料理動画サービスのファンだ。文字のレシピは「塩少々」などの表現が分かりにくく、料理には苦手意識があったが、克服できたという。料理動画は、調理する手順を撮影し、早回ししたり、ポイントとなる場面を抜き出し、1分程度の映像に編集。フェイスブックやインスタグラムなどSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を通じて無料配信している。

「動画ならは調味料の量も一目瞭然。調理手順もイメージできる」

東京都並区の会社員女性(32)は料理動画サービスのファンだ。文字のレシピは「塩少々」などの表現が分かりにくく、料理には苦手意識があったが、克服できたという。料理動画は、調理する手順を撮影し、早回ししたり、ポイントとなる場面を抜き出し、1分程度の映像に編集。フェイスブックやインスタグラムなどSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を通じて無料配信している。

## 料理バツチリ 動画で1分

### スマホ向け無料配信

料理ができるまでの動画をスマートフォン向けに配信する「料理動画サービス」が人気だ。料理での再生時間は1分程度で理解しやすく、見ているだけでも楽しい。メニューに悩んだら参考にしてはどうか。(宮本優美)

提供も増えている。スマホアプリでの提供も増えている。

例えば人気サービスの「mogoo(もぐー)」で、肉料理の「豚バラ巻きオニオンリングを再生すると、約20分の調理時間の料理が約30秒で説明される。「タマネギを切る」「写真」「豚肉を巻く」「衣を付ける」「揚げて盛りつける」と、調理手順がテンポ良く紹介され、「塩(少々)」のテロップも実際に塩が使われる。動画の下には文字のレシピも表示される。

料理動画サービスは、まず米国で流行し、日本では約1年前から続々と始まった。新興企業の参入が相次ぐ一方、文字でレシピを紹介するネット大手も動画を作り始めた。

運営会社によって編集方法に違いはあるが、和洋中など家庭向け料理を分かりやすく紹介することは共通する。レシピ件数や利用者数は大半の企業が非公表としている。

国内で先行組の「DELISH KITCHEN(デリッシュキッチン)」は昨年9月スタート。毎日の食卓に生かせる実用的なレシピが人気で、食品メーカーとのタイアップも多く、料理本が3冊出版されている。

「KURASHIRU(クラシル)」は、料理名や食材から調理法を検索できるスマホアプリが充実している。月1000件以上のレシピを配信しているという。「Tasty Japan(テイスタージャパン)」は、米国の料理動画サービス「Tasty」の日本版で、日本の調味料や調理法を採用している。

「C Channel(シーチャンネル)」は20代〜30代前半の若い女性向けに、おしゃれなレシピの紹介を始めた。11月から配信を始めた「CookMe(クックミー)」は、カフェなど70店を展開する外食企業が運営し、プロの料理人のレシピが売りの。

運営会社の収入源は、ネット広告や、食品メーカーとのタイアップなど。利用者を増やすため内容を競い合っており、比較して気に入ったサービスを選びたい。

